

平成29年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	01	自然・環境
取組の基本方針	02	循環型社会の形成

事業名	分別・資源化等啓発事業
担当課	生活環境部環境室廃棄物対策課

目的と事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ・資源物の分別、排出が正しく行われるよう「分別の手引き」、「収集日カレンダー」を作成し全世帯に配布する。
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度まで「収集日カレンダー」と一緒に毎年発行していた「分別の手引き」を、平成23年度から2年に一度の発行とした。
H29年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 「分別の手引き」更新年度の変更について</p> <p>【実施内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ・資源物の分別・排出方法等を周知する「分別の手引き」の内容は、次期一般廃棄物処理基本計画の策定まで変更がないことから、次回発行を4年後の平成33年度とする。 ・平成29年度に発行する「分別の手引き」では、平成28年3月に見直した一般廃棄物処理基本計画に掲げるごみ減量化・資源化に向けた特集を掲載し充実を図る。 ・平成29年度については、次回発行までの4年間に必要な「分別の手引き」を作成するため、経費が増加するが、平成32年度までの総額を比較すると、経費の削減が見込まれる。 </p>

(単位:万円)

予算状況	H27決算	H28予算	H29要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
外国語版手引き翻訳等謝礼	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	△1.0
用紙等	3.5	7.0	7.0		7.0	
収集日カレンダー、分別の手引き等印刷費	311.5	171.6	380.9	209.3	363.7	△17.2
印刷物個別配布委託料	202.7	134.2	345.5	211.3	345.5	
計	518.7	313.8	735.4	421.6	717.2	△18.2
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他	78.2	39.6	82.4	42.8	82.4	
一般財源	440.5	274.2	653.0	378.8	634.8	△18.2
主な増減理由(前年比)	平成29年度は、「分別の手引き」の発行年にあたることから、「分別の手引き」の作成及び配布による増と、紙面の充実及び次回発行を平成33年度とすることに伴う4年間の必要部数の作成による増。					
査定内容	事業費精査の上、要求どおり予算計上(△18.2万円)					

平成29年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	02	産業
取組の基本方針	01	都市型農業の推進

事業名	「食」と「農」の豊かさ発見実践事業
担当課	経済部農業振興課

目的と事業概要	「食」に関する知識や「食」を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践することができる市民を育てる「食育」を推進するため、市内小中学生を対象とした各種体験学習、出前講座を実施するほか、学校給食への地場産農産物導入を支援する。また、JA道央青年部が小学生を対象に実施する農業体験学習(グリーンスクール)への支援を行う。
前年度までの実施内容と効果	1.小学生食育事業(H17～) ・各種農業体験学習(田植え稲刈り体験学習、小麦追跡学習、野菜の学習、酪農体験学習等) H26/12校751名 H27/13校775名 H28/12校663名 ・江別産農産物地場消費推進事業補助(グリーンスクール) H26/1校55名 H27/1校49名 H28/1校80名 2.中学生食育事業(H26～) ・江別産満載!中学生お弁当コンテスト(地域農業や地産地消の学習、お弁当レシピ審査・表彰) H26/2校216名 H27/3校285名 H28/5校633名
H29年度の実施内容	【意見募集にあたっての論点】 食育事業の運営業務の委託化と外部講師枠の拡大について 受入生産者やコーディネーターの不足が課題としてあり、運営時期が夏場の農繁期に重なり、増加傾向の体験希望に応えきれない現状にある。 昨今、市内でも食育活動を主体とする事業者も現れ、一部の運営を委託することによって、受入生産者やコーディネーター不足の解消、運営体制の効率化、食育体験の機会充実を図る。 ①小学生食育事業(田植え稲刈り体験学習 他 計9校分)の運営業務委託 ②中学生食育事業(江別産満載!中学生お弁当コンテスト)外部講師派遣枠(3校→5校分)の拡大

(単位:万円)

予算状況	H27決算	H28予算	H29要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
小学生食育事業	119.3	155.1	335.9	180.8	306.9	△29.0
江別産農産物地場消費促進事業補助	10.0	10.0	12.0	2.0	10.0	△2.0
中学生食育事業	9.3	13.3	24.6	11.3	23.1	△1.5
その他(地場産農産物導入支援等)	24.7	17.1	17.0	△0.1	16.6	△0.4
計	163.3	195.5	389.5	194.0	356.6	△32.9
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他	7.0	7.2	7.2		7.2	
一般財源	156.3	188.3	382.3	194.0	349.4	△32.9
主な増減理由(前年比)						
	増加理由:小学生向け体験学習の一部委託による運営費用の増加 中学生向け事業における地産地消等に関する外部講師派遣枠拡大による講師謝礼の増加					
査定内容						
	事業費精査の上、要求どおり予算計上(△32.9万円)					

平成29年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	03	福祉・保健・医療
取組の基本方針	04	高齢者福祉の充実

事業名	市民後見推進事業
担当課	健康福祉部介護保険課

目的と事業概要	認知症や障がい等により判断能力が十分ではなく支援の必要な市民が、地域において安心して生活することができるよう、成年後見制度に関する相談窓口の設置や市民後見人の担い手の確保など、支援体制を整備する。
前年度までの実施内容と効果	<p><平成27年度></p> <ul style="list-style-type: none"> (1)市民後見人養成講座開催 <ul style="list-style-type: none"> ・事前説明会参加者 64人 ・養成講座修了生 31人 ・市民後見人候補者名簿登録者 31人 <p><平成28年度></p> <ul style="list-style-type: none"> (1)後見実施機関に関する検討委員会設置 <ul style="list-style-type: none"> ・組織体制、運営、業務内容等の意見交換を実施 (2)市民後見人フォローアップ研修開催
H29年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>後見実施機関を委託により設置し、成年後見に関する次の事業を実施することについて、意見を募集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)成年後見制度の広報・啓発 (2)成年後見制度に関する相談・支援 (3)市民後見人の育成・バンク登録 (4)市民後見人のサポート (5)後見受任

(単位:万円)

予算状況		H27決算	H28予算	H29要求	前年比	予算案	増減
財源内訳	【積算内訳】						
	市民後見人養成講座開催運営委託	226.8					
	市民後見人フォローアップ研修開催運営委託		40.9	18.0	△22.9	18.0	
	後見実施機関検討委員会委員報酬		22.8		△22.8		
	後見実施機関検討委アドバイザー業務委託		75.5		△75.5		
	後見実施機関運営業務委託			840.2	840.2	840.2	
	会議等経費	0.5	1.7	12.2	10.5	12.2	
	計	227.3	140.9	870.4	729.5	870.4	
	国・道支出金	212.7	126.1	335.4	209.3	335.4	
	市債						
その他							
一般財源	14.6	14.8	535.0	520.2	535.0		
主な増減理由(前年比)							
後見実施機関運営業務委託料(新規)							
査定内容							
要求どおり予算計上							

平成29年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	04	安全・安心
取組の基本方針	01	安全な暮らしの確保

事業名	空家等対策計画策定事業
担当課	建設部建築指導課

目的と事業概要	空家等がもたらす防災、衛生、景観などの住環境悪化への対応や空家の利活用の促進など、空家対策を総合的かつ計画的に実施する必要があることから、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、空家等対策計画を策定する。
前年度までの実施内容と効果	平成29年度新規予定事業
H29年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 空家等対策計画の策定に係る予算について</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態調査(所有者意向調査・空家データベースの整備他) ・空家等対策計画の策定・印刷製本 他

(単位:万円)

予算状況		H27決算	H28予算	H29要求	前年比	予算案	増減
財源内訳	【積算内訳】						
	空家等対策計画策定に係る調査委託			530.3	530.3	500.0	△30.3
	計画書印刷製本費 他			54.1	54.1	54.0	△0.1
	計			584.4	584.4	554.0	△30.4
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源			584.4	584.4	554.0	△30.4
主な増減理由(前年比)							
平成29年度新規予定事業							
査定内容							
事業費精査の上、要求どおり予算計上(△30.4万円)							

平成29年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	04	安全・安心
取組の基本方針	03	消防・救急の充実

事業名	応急手当普及啓発事業
担当課	消防署 救急課

目的と事業概要	<p>市民などが、けが人や病人に対して応急手当、心肺蘇生法などが適切に実施できるよう応急手当講習を推進し、救命効果を向上させる。</p> <p><講習の種類></p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通救命講習Ⅰ 講習時間3時間、成人に対する心肺蘇生法、AEDの使用方法、止血法、気道異物の除去法など。 ・普通救命講習Ⅱ 講習時間4時間、AEDを設置している事業所等向け。習熟度の確認と再指導など。 ・普通救命講習Ⅲ 講習時間3時間、乳幼児に対する心肺蘇生法、AEDの使用方法、気道異物の除去法など。 ・上級救命講習 講習時間8時間、普通救命講習修了者対象。再確認と傷病者の応急手当、管理、搬送方法など。 ・救命入門コース 講習時間90分間、胸骨圧迫とAED取扱いのみ。 ・一般救急講習 一般的な応急手当の知識と技術に関する講習。
前年度までの実施内容と効果	<p>定期開催のほか、市民などからの要望により講習会を実施している。</p> <p>平成27年の実施回数、受講者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通救命講習Ⅰ 68回1,842名 うち定期開催7回 182名 ・普通救命講習Ⅱ 7回 123名 うち定期開催3回 34名 ・普通救命講習Ⅲ 6回 98名 うち定期開催1回 23名 ・上級救命講習 1回 25名 うち定期開催1回 25名 ・救命入門コース 10回 229名 ・一般救急講習 26回1,279名 <p>平成7年～平成27年までの救命講習受講(普通救命講習Ⅰ～Ⅲ、上級救命講習、救命入門コース)の延べ受講者数は、26,960名。市民が心肺停止(疑いを含む)の人に対して応急手当を行った割合は、平成26年は50.5%、平成27年は64.5%と増加した。</p>
H29年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>子育て世代が安心して生活できるまちづくりを目指すため、普通救命講習Ⅱを減らし、開催要望が多い乳幼児に対する心肺蘇生法などを学ぶ普通救命講習Ⅲを増やして、2年間事業を実施することについて、意見を伺いたい。</p> <p><定期開催実施予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通救命講習Ⅰ(年間7回) ・普通救命講習Ⅱ(年間2回) ・普通救命講習Ⅲ(年間2回) ・上級救命講習(年間1回)

(単位:万円)

予算状況		H27決算	H28予算	H29要求	前年比	予算案	増減
財源内訳	【積算内訳】						
	応急手当講習会開催経費	43.3	42.0	45.7	3.7	39.7	△6.0
	応急手当講習会普及啓発経費	4.7	4.7	4.7		4.7	
	応急手当講習会用物品修繕費	4.0	3.8	3.8		3.8	
計		52.0	50.5	54.2	3.7	48.2	△6.0
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他						
	一般財源	52.0	50.5	54.2	3.7	48.2	△6.0
主な増減理由(前年比)							
<p>子育て世代から、乳幼児に対する心肺蘇生法などの救命講習会開催の要望が高まり、普通救命講習Ⅲの開催回数を増やすことにより使用する消耗品が増加するため。</p>							
査定内容							
<p>事業費精査の上、要求どおり予算計上(△6.0万円)</p>							

平成29年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	06	子育て・教育
取組の基本方針	02	子どもの教育の充実

事業名	小中学校外国語教育支援事業
担当課	教育部学校教育支援室学校教育課

目的と事業概要	<p>《事業目的》 児童生徒が諸外国の生活や文化等について理解を深め、英語に慣れ親しむとともに、児童生徒のコミュニケーション能力を育てることを目的とする。</p> <p>《事業概要》 市内小中学校に外国語の授業を支援する外国語指導助手8名(以下「ALTという。」)を派遣し、担任とともに役割を分担・協力しながら指導する「チーム・ティーチング」などの学習支援を行う。 また、長期休業中にALTを市内小学校に派遣し、補充的学習の一環として外国語活動を実施する。</p>
前年度までの実施内容と効果	<p>《実施内容》 江別市独自の取組として、平成27年度から全小学校・全学年で小学校外国語活動を実施しており、その全ての授業にALT(6名)を派遣している。また、中学校に対しても、ALT(2名)を派遣している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度 小学校5・6年生で年間35時間の「外国語活動」が必修化 ・平成26年度 市独自の取組として、小学校3・4年生で年間12時間の「外国語活動」を実施 時数増に対応するため、ALTを1名増員 ・平成27年度 市独自の取組として、小学校1・2年生で年間12時間の「外国語活動」を実施 <p>《実施効果》 児童生徒のコミュニケーション能力や英語に慣れ親しむ姿勢・態度が育まれている。</p>
H29年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 小学校外国語活動におけるこれまでの取組の成果を測定・分析し、結果に基づいた授業改善を図るため、小学校外国語活動のレベルに合わせたリスニング形式の検査である英検Jrを、小学校5・6年生で実施することについて</p>

予算状況		H27決算	H28予算	H29要求	前年比	予算案	増減
財源内訳	【積算内訳】						
	英検Jr実施に係る経費			133.6	133.6	0	△133.6
	その他(ALTへの報酬等)	2,671.1	2,911.8	2,806.4	△105.4	2,806.4	
	計	2,671.1	2,911.8	2,940.0	28.2	2,806.4	△133.6
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源	2,671.1	2,911.8	2,940.0	28.2	2,806.4	△133.6
主な増減理由(前年比)							
<ul style="list-style-type: none"> ・英検Jr実施による増。 ・「外国青年招致事業(JETプログラム)」によるALT任用から、市の直接雇用であるALT任用に変更したことに伴い、JETプログラムに係るALTの報酬及び帰国費用等が不要となったことによる減。 							
<p>査定内容</p> <p>平成32年度に学習指導要領の改訂が予定されていることから、その具体的な内容を踏まえた上で再度検討することとし、英検Jrの実施については見送ることとした。(△133.6万円)</p>							

平成29年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	07	生涯学習・文化
取組の基本方針	01	生涯学習の充実

事業名	家庭教育事業
担当課	教育部生涯学習課

目的と事業概要	子どもは豊かな心や協調性を、小学生を持つ親はしつけのあり方や家庭教育について学び、親力を育むとともに地域住民の協力を得ることで地域の教育力を向上させる。
前年度までの実施内容と効果	<p>平成29年度新規予定事業</p> <p>【過去の経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度までは、未就学児を持つ保護者を対象に学習の機会(青空子どもの広場)を提供。 市内3地区(1地区10回)で開催。 絵本の読み聞かせやリズム体操、子育てに関係した講演会を実施。 少子化等の影響や、他の子育て支援事業の充実により、当該事業への参加者は減少傾向にある。 <p>【効果】</p> <p>参加者間に独自のネットワークができ、子育てに対する孤立感の軽減が図られ、参加者同士の自主的な交流や学習に発展していく例が見られる。</p>
H29年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>就学児童の保護者を対象に、新規に講演会や親子向けの体験活動事業を実施することについて</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで、未就学児童の保護者を対象として事業を実施してきたが、他部門の事業と対象が重複していることや、参加者が減少傾向にあることから、事業の見直しを行う。 子育てに関する不安や悩みは子どもの発達段階によって様々であることから、平成29年度からは、就学児童の保護者を対象に事業を展開することで、子育て環境の充実を図る。子どもを見る目を養い、親力の向上のため、保護者の学びの場を提供する。 また、親子で一緒に参加できる体験活動事業を実施する。 事業の展開にあたっては、地域住民の協力を得て実施することにより、地域と子どもをつなぐ事業とし、郷土愛を育み、地域みんなで子育てをする土壌を形成する。事業の実施により家庭、地域の教育力の向上につなげる。

(単位:万円)

予算状況	H27決算	H28予算	H29要求	前年比	予算案	増減	
【積算内訳】	指導員、協力員等謝礼		26.6	26.6	26.6		
	指導用教材等		2.5	2.5	2.5		
	案内チラシ印刷費		4.5	4.5	4.5		
	参加者・指導者傷害保険料		1.1	1.1	1.1		
	講演会開催委託料		5.0	5.0	5.0		
	バス借上げ料		6.5	6.5	6.5		
	計		46.2	46.2	46.2		
	財源内訳	国・道支出金					
		市債					
		その他				30.0	30.0
一般財源			46.2	46.2	16.2	△30.0	
主な増減理由(前年比)							
平成29年度新規予定事業							
査定内容							
財源精査の上、要求どおり予算計上							

平成29年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	07	生涯学習・文化
取組の基本方針	02	ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

事業名	市民文化ホール管理運営事業
担当課	教育部生涯学習課

目的と事業概要	文化・芸術活動の拠点として、施設の維持管理・運営を適切に行い、芸術文化の振興を図るとともに自主的芸術活動の場の提供を行う。
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図っており、運営管理と事業企画、実施が統括的に行われている。 ・市民の文化活動への意欲が年々高まる中で、文化に触れる機会や文化事業に参加する場の提供をするうえで必要不可欠な施設として、年間延べ5万人以上に利用されている。 ・市民から「えぼあホール」の愛称で親しまれている同館は、クラシック専用ホール並みの音響性能を備えたホールとして音楽関係者に重用されている。
H29年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>周年事業として日本を代表するソプラノ歌手を迎え、質の高い文化鑑賞の機会を市民へ提供するとともに、当該施設のPRを行い、更なる利用促進を図ることについて</p> <p>平成9年に開館した市民文化ホール(えぼあホール)は、平成29年度に20周年を迎える。</p>

(単位:万円)

予算状況		H27決算	H28予算	H29要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】	演奏家への出演料			50.0	50.0	50.0	
	文化ホール物品等修繕費		10.0	15.0	5.0	10.0	△5.0
	市民文化ホール指定管理料	5,070.0	5,034.7	5,031.3	△3.4	5,038.8	7.5
	計	5,070.0	5,044.7	5,096.3	51.6	5,098.8	2.5
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他			50.0	50.0	50.0	
	一般財源	5,070.0	5,044.7	5,046.3	1.6	5,048.8	2.5
主な増減理由(前年比)							
演奏家への事業出演料(50万円)							
査定内容							
事業費精査の上、要求どおり予算計上(+2.5万円)							

平成29年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	07	生涯学習・文化
取組の基本方針	03	市民スポーツ活動の充実

事業名	地域スポーツ活動活性化促進事業
担当課	教育部スポーツ課

目的と事業概要	<p>【目的】 軽スポーツ、レクリエーションに親しむ人を増やすため、学校PTAや自治会などの地域の人々に対し、スポーツに親しむ機会を提供すること。</p> <p>【事業概要】 学校PTAや自治会などからの要請により、スポーツ推進委員が出向いて指導を行い、軽スポーツやレクリエーションを行う。</p>												
前年度までの実施内容と効果	<p>地域や学校、団体などにメニューを提示し、選ばれた軽スポーツメニューに応じ、スポーツ推進委員が指導を行う。実施は無料で、会場確保は団体が行う。 ミニテニスやフライングディスクなど、9種のメニューから選択することができる。</p> <p>【実施回数】 【参加人数】 【講師派遣人数】</p> <table border="1"> <tr> <td>H25年度</td> <td>6回</td> <td>296人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>H26年度</td> <td>6回</td> <td>254人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>2回</td> <td>131人</td> <td>10人</td> </tr> </table>	H25年度	6回	296人	17人	H26年度	6回	254人	18人	H27年度	2回	131人	10人
H25年度	6回	296人	17人										
H26年度	6回	254人	18人										
H27年度	2回	131人	10人										
H27年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 軽スポーツの出前事業の利用促進に関するアイデア募集について</p> <p>自治会関係や、PTAなどに利用されており、市広報や社会福祉協議会の自治会向け事業案内でPRしているが、年々全体の利用者数が減少している。多くの人々に利用してもらい、有効に実施するためのアイデアなどをいただきたい。</p>												

(単位:万円)

予算状況		H27決算	H28予算	H29要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】	スポーツ推進委員報酬	5.8	16.9	16.9		16.9	
	スポーツ推進委員費用弁償	1.9	2.3	2.3		2.3	
	被服費	11.4	13.2	13.2		13.2	
	計	19.1	32.4	32.4		32.4	
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他						
	一般財源	19.1	32.4	32.4		32.4	
主な増減理由(前年比)							
前年度同額の範囲で事業を進める。							
査定内容							
要求どおり予算計上							

平成29年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	08	協働
取組の基本方針	01	協働のまちづくりの推進

事業名	男女の出会いの場づくり支援事業
担当課	企画政策部企画課

目的と事業概要	総合戦略における未婚化・晩婚化に対する取組みとして、独身男女の出会いを支援するとともに、市の魅力をPRすることにより、定住人口、交流人口の増加を図る。また、幅広い年代の集客と魅力あるイベント内容とするため、民間委託により、夏季と冬季の年2回実施する。
前年度までの実施内容と効果	<p><平成27年度> 平成28年1月9日(土)にEBRI(エブリ)を会場に、プレオープンイベントの一環として、独身男女による「E-night(イー・ナイト)」を開催。市内及び近郊にお住まいの概ね25歳～40歳の男女106名が参加し、カップリングが7組成立した。</p> <p><平成28年度> 平成28年8月27日(土)に陶芸工房アトリエ陶にて「土器コン」を開催。陶芸・野菜収穫・流しラーメン体験などの内容で実施。市内及び近郊にお住まいの概ね25歳～40歳の男女38名が参加し、カップリングが10組成立した。 ※冬季に開催するイベントについては、現在調整中。</p>
H29年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 過去の開催結果をもとにした実施方法等の見直しについて</p> <p>【実施内容】 ①夏季と冬季の年2回イベントを開催する ②独身男女の出会いの場を支援する ③市の魅力をPRする内容とする</p>

(単位:万円)

予算状況		H27決算	H28予算	H29要求	前年比	予算案	増減
財源内訳	【積算内訳】						
	会場使用料	12.7					
	イベント開催委託料	74.0	140.0	80.0	△60.0	80.0	
	イベント用物品等	4.3					
	計	-	140.0	80.0	△60.0	80.0	
	国・道支出金	91.0	140.0		△140.0		
	市債						
	その他					50.0	50.0
	一般財源			80.0	80.0	30.0	△50.0
主な増減理由(前年比)							
取組内容の見直しによる減。 ※H27予算は12月補正。 ※H28予算は道の地域少子化対策重点推進交付金の対象とならなかったため、一般財源で実施。							
査定内容							
財源精査の上、要求どおり予算計上							

平成29年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	08	協働
取組の基本方針	01	協働のまちづくりの推進

事業名	自治会活動支援事業
担当課	市民生活課

目的と事業概要	自治会活動における女性の活躍を支援するために、自治会の女性役員同士や自治会の女性役員と江別市自治会連絡協議会役員との意見交換を行い、具体的な取り組みを検討する。 また、住民に自治会の必要性や関心を深めてもらい、担い手の発掘と育成につなげるため、地域活動運営セミナーを開催する。
前年度までの実施内容と効果	平成28年度の女性の自治会長は全161自治会中9名、江別市自治会連絡協議会の女性役員は33名中1名であり、女性が少ない現状である。 このことから平成27年度に、自治会活動を含めた地域活動において、女性の意見が取り入れられている環境となっているか、現状把握を目的とした意見交換会を年3回開催している。 平成28年度は、女性対象セミナーを開催し、地域で女性が力を発揮するためには何が必要かを話し合い、課題解決につながる具体的な支援策について意見交換を行った。 また、自治会活動の担い手の発掘と育成を目的に、平成26年度より地域活動運営セミナーを実施し、意識の啓発を図っている。
H27年度の実施内容	【意見募集にあたっての論点】 自治会活動における女性の活躍を支援するための取り組み内容について 【実施内容】 ・自治会の女性役員の自治会活動に関する情報の共有を進め、女性の自治会活動を支援するため、これまでの意見交換会を拡大して、新たに自治会の女性役員同士が意見交換を行う場を設ける。 ・自治会の女性役員と江別市自治会連絡協議会の役員との意見交換の場を新たに設け、女性の活躍を支援するための課題や具体的な支援策を検討する。 ・自治会の必要性を理解し、関心をもってもらうために、自治会活動の内容をわかりやすく効果的にPRする情報発信手法を学ぶことを目的に、地域活動運営セミナーを開催し、担い手の発掘と育成につなげる。

(単位:万円)

予算状況		H27決算	H28予算	H29要求	前年比	予算案	増減
財源内訳	【積算内訳】						
	講師等謝礼	8.0	8.0	8.2	0.2	8.2	
	セミナー用消耗品費		0.5		△0.5		
	意見交換会お茶代		0.5	1.6	1.1	1.6	
	セミナー用資料印刷費	4.0	2.5	1.1	△1.4	1.1	
	会場使用料	3.5	2.7	2.0	△0.7	2.0	
	計	-	14.2	12.9	△1.3	12.9	
	国・道支出金						
	市債						
	その他		11.4		△11.4		
一般財源		2.8	12.9	10.1	12.9		
主な増減理由(前年比)							
平成28年度実施の女性対象セミナー開催経費の減							
査定内容							
要求どおり予算計上							